進捗報告（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年１０月 17 日
● 事　業　名　：　広域・分散型災害支援ネットワーク構築事業
● 資金分配団体　：　全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
● 実 行 団 体　：　北の国災害サポートチーム

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
①-1　支援団体のリスト化とマッピング	リスト・マップ数	1	2021 年度	1	2
②-1　全道域フォーラムと被災者支援研修会の開催	①開催回数	①4 回／年	2020 年度	①1 回 ※１０月以降にも開催を予定	2
	②参加人数	②150 人／年		②延べ２３人 （技術系研修会１会場２日程延べ２３人） ※10 月以降にも開催を予定	
②-2　全国域フォーラム・研修会への参加	参加回数	2 回／年	2020 年度	1 回 ・第 6 回災害時の連携を考える全国フォーラム	2

				（主催：JVOAD／当団体より７名参加、分科会を担当）	
②-3　胆振東部地震のアーカイブの作成	①配布部数	①3000 部	2020 年度	①８５０部 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、２０２０年度はアーカイブ冊子を活用した対面での研修会開催が困難であった。そのため作成するアーカイブの対象期間を延長し再編するとともに、Ｗｅｂでの公開も行ったため、印刷部数を１，０００部に減冊した	2
	②配布箇所	②４５０ヵ所		②５６５ヵ所 （北海道内全市町村の行政・社会福祉協議会、都府県社会福祉協議会、協力会員団体等）	
③-1　当該地区における意見交換等の開催	開催回数	各地区２回	2022 年度	釧路地区１回、 有珠山周辺地区１回 ※10 月以降にも開催を予定	2
③-2　当該地区におけるネットワーク構築	①打合せ回数	①各地区４回	2022 年度	①各地区１回 ※１０月以降にも開催を予定	2
	②コンタクトを取った方のリスト数	②1		1	
③-3　当該地区の中間支援組織にコーディネーターを配置	①配置拠点数	①２ヵ所	2020 年度	①２ヵ所	2
	②配置人数	②２人		②2 人	
④-1　全道域フォーラムや研修会等への企業への参加	参加企業数	５社	2022 年度	15 社	2
④-2　企業等への協力要請と	開催回数	６回／年	2020 年度	２回	2

支援構築に向けた会議の開催				※１０月以降にも開催を予定	
⑤-1　コーディネーターの配置	①配置拠点数	①２ヵ所	2020 年度	①２ヵ所	2
	②配置人数	②2 人		②3 人	
⑤-2　道庁、道社協担当者とのコア会議の開催	開催回数	2 回／年	2021 年度	1 回 （道庁、道社協それぞれ個別で意見交換や情報共有の場は複数回設けている）	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

②　事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告
事業が 3 年目となり、これまでの活動を検証し、今年度・次年度以降の取り組みについて内部で検討を重ねる中、6 月には幹事団体内で、重点地区の災害時のシミュレーションの会を実施した。釧路地域での地震・津波災害、有珠山周辺地域での噴火災害を想定し、実際に起こりうることや災害の種類・地域の特性に応じた支援について意見を出し合い、改めて幹事団体内での役割やそれぞれの持つネットワーク等について確認した。 このシミュレーションの会を含む 2 年目までの活動の波及効果として、重点地区として事業にあたってきた 2 地区における取り組みが発展し、各地域主体の事業が展開されている。 有珠山周辺地域においては、当団体の幹事団体メンバーや過去のフォーラムに協力、参加いただいた方を中心とした「室蘭災害ボランティアネットワーク」が立ち上がり、キックオフイベントとして、西胆振地域防災を考える市民フォーラムが 2 日間にわたり開催された。昨

年度は当団体が主催して開催した、地元活動者のガイドと火山遺構公園の見学を含めたフィールドワークのほか、道外講師を招いて噴火災害に備えた学びを深め、意見交換をするフォーラムも開催され、延べ６９名が参加した。

釧路地域においては、幹事団体が主催となり市内のショッピングモールで防災イベントを実施。行政や郵便局、保険代理業協会等がブース出展をした他、ステージでは地元の中学生が避難所運営に関する学習発表や、ブース出展した複数の団体による防災・災害支援に関するトークセッションも行われ、来場者約１，０００人の大規模なイベントとなった。　当団体ではこれらの事業に際し、共催または協力という形で関わり、地域主体の活動をサポートしている。

主催事業としては、昨年度から行っている技術系研修会を、今年度も建設機械レンタル会社の協力により開催している。６月に開催した石狩会場では、２日間で延べ２３名が参加した。重機の操作体験ができる本研修会は、問い合わせや参加希望の声が多く、今年度は１０月以降に旭川・函館の 2 地域で開催を予定している。

またその他、１０月以降には３回目となる北海道フォーラムをはじめ、オンライン研修会の実施や、平時から情報共有ができる幹事団体や協力会員等の交流の場を企画予定であり、助成期間終了後を見据え、持続可能な団体の活動やその展開についても考えている。

③　広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☑報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・NHK ニュース（北海道版）（2022 年 9 月 17 日放送） ※共催事業として 9 月 16 日に実施した「西胆振地域防災を考える市民フォーラム」のフィールドワークのプログラムの様子が放送 https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20220917/7000050739.html?fbclid=IwAR0n4zw47dKIJAFdEakm1G-6YF63Dokv0-

PblanmAG0CgmLMERJOV7GXPvw

・釧路新聞（２０２２年９月２４日、「防災知識 楽しみ深める - 釧路でイベント 展示やクイズラリー好評」）
※協力事業として９月２３日に開催された「ひがし北海道防災スクール 2022in 釧路」の様子について掲載

・北海道新聞道東版（２０２２年９月２５日、「跳ねても丈夫 段ボールベッド - 釧路で防災学ぶイベント」）
※協力事業として９月２３日に開催された「ひがし北海道防災スクール 2022in 釧路」の様子について掲載

2.広報制作物等

・「技術系研修会」チラシ※データのみ　（発行時期：２０２２年６月）

・「西胆振地域防災を考える市民フォーラム」　（発行時期：２０２２年８月）　※共催事業

・「技術系研修会 in 旭川・函館」チラシ　（発行時期：２０２２年９月、部数：1,300 部）

・「第 3 回これからの災害支援を考える北海道フォーラム」チラシ　（発行時期：2022 年 9 月、部数：3,000 部）

3.報告書等

特になし

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

・「災害ボランティア技術系研修会～バックホーに乗ってみよう」（開催日：2022 年 6 月 18 日・19 日、参加者数：2 日間延べ 23 名）

建設重機や大工系の技術を持つ「技術系災害ボランティア」の必要性や、活動上の関係機関との連携を学び、重機等の実演・市場も交えた研修会を実施。全国各地の災害被災地で活動する団体を講師に招き、使用した重機は建機レンタル会社の協力を得て実施。

・「これまでの大規模自然災害から考える現在の被災者支援制度 in 北海道」（開催日：2022 年 7 月 23 日）

主催：3.11 から未来の災害復興制度を提案する会

上記団体が主催する会へ協力団体として参加。当団体からも２名が登壇し、北海道胆振東部地震での支援活動等について報告。

・「西胆振地域防災を考える市民フォーラム～有珠山が噴火したらどうしますか～」　（開催日：２０２２年９月１６日・１７日、参加者数：2 日間延べ 69 名）

主催：室蘭災害ボランティアネットワーク

当団体が主催する北海道フォーラム等を通して新たに立ち上がった上記団体のキックオフイベントとして、共催で実施。
1 日目は有珠山ジオパークにて前回の噴火時の様子や体験談を当時の被災者にお聞きしながら災害遺構を散策するフィールドワークを実施。2 日目は北海道外より外部講師を招き、災害時の対応や市民の共助による避難所運営等について学ぶフォーラムを実施。フォーラムには当団体からも 1 名が登壇。

・「ひがし北海道防災スクール 2022in 釧路」（開催日：２０２２年９月２３日、来場者数：約 1,000 名）

主催：ひがし北海道市民防災サポート
当団体の幹事団体である上記団体の主催事業に協力として参加。ショッピングモールのイベント会場において、災害支援活動に関するブースを出展し、活動写真や足湯道具の物品などを展示。

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

・「災害ボランティア技術系研修会～バックホーに乗ってみよう」（開催日：2022 年 6 月 18 日・19 日）

・「これまでの大規模自然災害から考える現在の被災者支援制度 in 北海道」（開催日：2022 年 7 月 23 日）

・「西胆振地域防災を考える市民フォーラム～有珠山が噴火したらどうしますか～」　（開催日：2022 年 9 月 16 日・17 日）

・「ひがし北海道防災スクール 2022in 釧路」（開催日：2022 年 9 月 23 日）